

令和5年度 児童発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年2月22日

全回収率 97%

事業所名: おひさまスマイル

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	放デイと児発が重なっている時間は、活動場所をパーティションで仕切って活用し、それぞれのスペースを確保している	はい 88% どちらとも言えない6% いいえ 0% わからない 6%	可動式のパーティションをうまく活用し、スペースが十分に活用できるように工夫する
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づき職員配置し、利用者の人数や実態に応じてさらに+αで職員を配置している	はい 82% どちらとも言えない10% いいえ 0% わからない 18%	玄関に写真付きの担当者表を掲示する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	指導室が2階にあり、階段を使用しないと行けないトイレや手洗いが1階にしかなく、その都度階段を降りなければならない、指導員の同行が必要	はい 82% どちらとも言えない2% いいえ0% わからない 12%	指導室が2階のためお子様の活動の様子が保護者に見えにくいことが「わからない」という回答につながったと推測する 今後もインスタグラム等で随時写真を公開すると共に、参観ウィーク等を設けたい
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	20畳の広いスペースをパーティションで仕切って使用している その日の活動に応じて手軽にレイアウトを変えることができる	はい 88% どちらとも言えない1% いいえ 0% わからない 3%	消毒や清掃を毎日行うのはもちろんだが、落書きや破損箇所などの補修等を気づいた時にすぐにするように心がける
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	短時間でも指導前にミーティングを行い、目標設定や振り返りを実施している		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今年度は実施していない		4月以降2店舗になるため、第三者委員会を設置し、業務改善に努めていきたい
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内での発達障害についての研修は元より学会や外部の研修会にも会社が補助を出し、スタッフの参加を促している		月1回以上研修や事例検討会を実施する また、LD学会に参加する 年間計画を立てて計画的に実施する
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	サービス利用計画とモニタリング結果を受け、ニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画を作成している	はい 88% どちらとも言えない9% いいえ 0% わからない 3%	今年度末から保護者もアプリを活用して支援計画を手元で確認することができるので共通理解がしやすい
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別と集団活動を適宜組み合わせて作成している		個別と集団を組み合わせて活動を設定していく予定
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個に応じて必要な項目を選択し、記載している	はい 91% どちらとも言えない9% いいえ 0% わからない 0%	次年度からは、必要な項目に合わせて5領域を抜かりなく記入していく
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って支援が行われているのかを定期的に振り返ることができていない 新システムの導入により、アプリ上で何時でも確かめることができ、PDCAサイクルを実施できる	はい 94% どちらとも言えない6% いいえ 0% わからない 0%	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	各係が立案し、ミーティングで全体におろして検討、実施している		立案者に負担がかかりやすいため、一人一人、責任を持ち取り組んでいく
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	多機能事業所なので、平日は児発と放デイの重ならない時間においては、比較的少ない人数できめ細かな支援が行えている 長期休暇はクッキングやお出かけなどの計画を立て、SSTの実践編をしている		
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月ごとに年中行事に絡めて、製作や自立活動を考え組み入れて実施している	はい 97% どちらとも言えない0% いいえ 0% わからない 3%	
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	各担当責任者で打ち合わせをしてほかの指導員に伝達している。		・計画を早く立てて、全職員に周知する
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援の記録をつけながらその日顕著なことについては、情報共有している。		
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回支援の記録を残し、それを見ながら次の教材を準備し、継続的な支援を心がけている。		
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月に一回のペースで見直しをしている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児発園児の場合、児発担当指導員と児発管で出席した。	児発管と担当指導員がサービス担当者会議に出席できるよう体制を組む	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	移行支援プログラム(SST・支援シート・支援会議)を計画し、実施中	移行支援プログラムは、保護者から好評なので次年度も継続して取り組みたい	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当生徒なし		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携会議に1件参加した 電話で連携事項について打ち合わせをした		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の民生委員さんが主催するグループの催しに定期的に参加した また、厚生館の行事にも参加した	開催日が土曜日が多かったので、土曜日の利用者からのみの参加になったので、利用者以外にも声をかけ参加を募りたい	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の行事に出かけて行き、餅つきやイベントに参加させていただき交流を図っているが地域の方を招待等はまだできていない		
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項説明書を丁寧に読み合わせし、説明している	はい97%、どちらともいえない3%、いいえ0%、わからない0%	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	事業所内相談を活用して、困りやニーズについて話し、具体的な支援内容を説明した。	はい82%、どちらともいえない12%、いいえ3%、わからない3%	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	プログラムを実施するまではしていないが、必要に応じて、その都度対応についてアドバイスを行っている。	はい50%、どちらともいえない12%、いいえ9%、わからない9%	ご希望に応じてペアレントトレーニングを実施する用意はできている
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳やLineでお知らせし共通理解している	はい91%、どちらともいえない9% いいえ0%、わからない0%	連携がしやすくなるように療育支援アプリを導入した。保護者との情報共有がよりしやすくなる予定
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	事業所内相談支援ができる事をポスターでお知らせし、要望があれば児発管が中心に全職員で対応している	はい59%、どちらともいえない29%、いいえ6%、わからない6%	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者の会に必要性を感じないという意見があった。	はい18%、どちらともいえない18%、いいえ18%、わからない41%	保護者の会という名目ではなく、少人数でも気軽に集まって話し合いができるような場を設定したい
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応については管理責任者から該当職員に確認、指導、その後全職員に周知している	はい62%、どちらともいえない6%、いいえ0%、わからない6%	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳を作成しその日の具体的な様子を書き情報共有できるようにしている 全保護者に療育支援アプリに登録をしていただき、写真でも情報共有しやすいように配慮している	はい85%、どちらともいえない0%、いいえ0%、わからない6%	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ホームページやInstagram、LINE等で活動についてお知らせしている	はい82%、どちらともいえない3%、いいえ0%、わからない9%	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付き保管庫に保管し、職員については、機密情報保持の契約書にも押印し、研修もしている。	はい85%、どちらともいえない3%、いいえ0%、わからない6%	
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	BCP研修を受け、各マニュアルの作成に取り組んでいる。	はい65%、どちらともいえない3%、いいえ0%、わからない6%		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	訓練については、1月と9月に2回実施 SSTにおいて緊急時の対応についてもトレーニングしている。	はい71%、どちらともいえない0%、 いいえ0%、わからない4%	訓練時の様子等を保護者にタイムリーに知らせ、課題を共通理解できるようにしていく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	全職員が今年度の研修会を受講済み		虐待防止マニュアルを活用し、常に虐待を行わないようセルフチェックを欠かさないようにする
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	特にその事例はないが、今後可能性のある児童生徒がいる場合は説明し、記載を必ずしたい。		児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載を必ずする
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用前に保護者に聞き取りを実施しアレルギーについては、除去している。		アレルギーのある児童のリストをおやつ提供用の棚に貼って、ヒューマンエラーが起こらないようにする
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、当事者あ記入し、管理職が点検し、全体に回覧をしている。定期的に全体に声かけを行わないとヒヤリハットが出にくくなる傾向があった。		ミーティングの時にヒヤリハットの事例を共有できるようにする